





もりやま景況調査

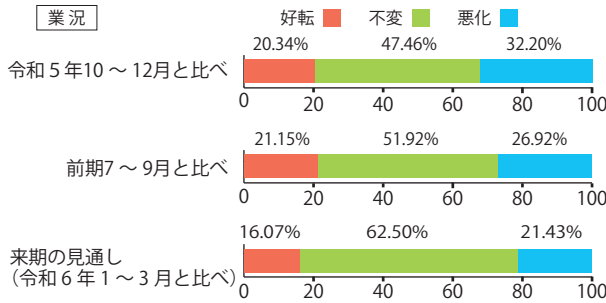
令和6年10月～12月期


※DI (Diffusion Index (景気動向指数)) … 「増加」「好転」企業割合から「減少」「悪化」企業割合を差し引いた数値

DI 指数	30 以上 	10 以上 30 未満 	▲ 10 以上 10 未満 	▲ 30 以上 ▲ 10 未満 	▲ 30 未満 
-------	---	--	--	--	---

業況

前回調査 (令和6年7月～9月期) と比べて改善している。来季はやや改善の見通し。

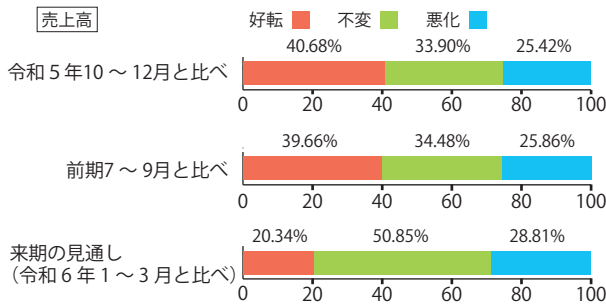


10 ～ 12 月 期 動 向 の 比 較	全体	▲ 11.9	
	小売業	▲ 13.3	
	製造業	▲ 50.0	
	建設業	▲ 25.0	
	サービス業	6.3	
	卸売業	33.3	

※業況DI (好転－悪化) は今期が▲11.9で前回調査の▲25.6から13.7ポイント改善
来期の見通しDI (好転見通し－悪化見通し) は▲5.4で、今期より6.5ポイント改善の見通し

売上高

前回調査 (令和6年7月～9月期) と比べて改善している。来季は悪化の見通し。

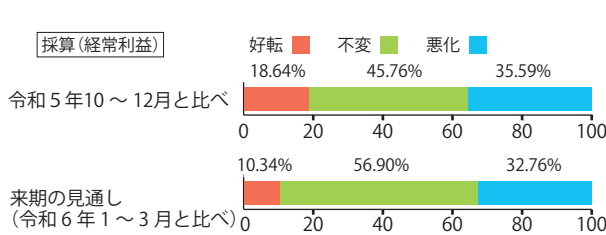


10 ～ 12 月 期 動 向 の 比 較	全体	15.3	
	小売業	▲ 6.7	
	製造業	▲ 20.0	
	建設業	25.0	
	サービス業	25.0	
	卸売業	83.3	

※売上高DI (好転－悪化) は今期が15.3で前回調査の▲18.6から33.9ポイント改善
来期の見通しDI (好転見通し－悪化見通し) は▲8.5で、今期より23.8ポイント悪化の見通し

採算(経常利益)

前回調査 (令和6年7月～9月期) と比べてやや改善している。来季はやや悪化の見通し。



10 ～ 12 月 期 動 向 の 比 較	全体	▲ 16.9	
	小売業	▲ 33.3	
	製造業	▲ 30.0	
	建設業	▲ 16.7	
	サービス業	▲ 12.5	
	卸売業	33.3	

※採算(経常利益) DI (好転－悪化) は今期が▲16.9で前回調査の▲23.3から6.4ポイント改善
来期の見通しDI (好転見通し－悪化見通し) は▲22.4で、今期より5.5ポイント悪化の見通し

円安、原材料・エネルギー価格・労務費等コスト増や価格転嫁、人手不足などの経営への影響についての意見

- ・コストは上昇しているが価格転嫁ができていない。(卸売業)・エネルギーコストが利益を圧迫している。(サービス業)
- ・新卒、中途現場職の採用に苦労している。(サービス業)・材料価格、労務費等の上昇で経営状況が悪化している。(建設業)
- ・従業員の高齢化に伴う技術者の採用が困難。(建設業)・全ての経費が上がっているが商品の値上げをすると売上がはっきり落ちる。(小売業)・異常なまでの経費の増加で前年との比較ができないように思う。(小売業)

その他、調査結果の詳細については当所ホームページをご覧ください。

<https://moriyama-cci.or.jp/survey/>

